

令和5年第6回 福津市議会定例会一般質問（令和5年12月）

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
1	秦 浩	1 本市における教育環境の考えと、新設校完成後の郷づくり体制について	<p>新設校は小学校1校、中学校1校の案から、小学校1校だけとなった。以前から教育委員会は中学校の建設が必要と言っていたが、今後の本市の中学校の体制をどうするのか、また今後の学校施設の整備計画について、以下のとおり伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 小学校1校、中学校1校の建設案が小学校新設のみになった理由 ② 今後、小中一貫校を含む中学校新設を考えないのか ③ 大規模校になっている福間中学校をはじめ本市の中学校の体制をどう考えているのか ④ 校区再編について ⑤ 新設校完成後の郷づくりについて ⑥ 今後の長寿命化を含む校舎等の整備計画 	
		2 本市の観光の取り組みについて	<p>本市は、世界遺産や自然にめぐまれた海岸など観光客誘致に優れた場所である。しかし宿泊施設が少なく、滞在時間も少ないと考える。そこで以下のことを伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 宿泊施設の誘致を積極的におこなっているか ② 本市の観光スポットを周遊する手段について ③ ひかりのみちDMO福津とふくつ観光協会の取り組みについて ④ ひかりの道沿線の歩行者の安全性について 	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
2	石田 まなみ	1 子どもの食への対策について	<p>令和5年7月11日付で、厚生労働省から「小中学校等の夏季等の長期休業期間中の子育て世帯への対応について」という事務連絡が、各自治体に出されている。その少し前の6月28日には、こども家庭庁から「放課後児童クラブにおける食事提供について」という事務連絡も各都道府県・市町村宛に送られている。</p> <p>これを踏まえて以下を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① これらの事務連絡が届いた後の本市の動きは ② 本市のこども食堂などの状況と課題について ③ 本市のフードバンクなどの支援の状況と課題について ④ 学童保育の長期休み等における食事提供の状況とお弁当発注や学校給食共同調理場の利活用について 	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
3	榎本 博	1 福津市人材育成基本方針について	<p>「福津市人材育成基本方針（改訂版）」は本年1月に改訂されており、7月に全員協議会で説明を受けた。 これまでの人材育成の取り組み及び成果と、今回の改定に至った経緯を伺う。</p> <p>① これまでに行った市の研修の内容と成果について ② 福津市職場先輩制度の実施状況について ③ 人材育成基本方針の改定に至った経緯について</p>	
		2 地域拠点の活性化の取り組みについて	<p>令和5年6月定例会と9月定例会で、二つの地域拠点について一般質問を行った。 その地域拠点の一つ、津屋崎地区の活性化で、令和4年度にコンサルに委託された「福津市津屋崎地区観光活性化事業計画策定業務報告書」の中で、「市内に新たな事業主体となる運営組織を設立し、ここに地元事業者の参画を促しつつ、民間事業者の運営・経営ノウハウとリソースを活用することが望ましい」と示され、夕陽館、津屋崎ヨットハーバー、豊村酒造別邸の管理運営方法も提案されていた。この提案をいつ実施するのか。 また、もう一つの地域拠点である東福間駅周辺地域の未利用地の活用、住宅地の再生や交通の結節点としての機能の充実などの必要性について、日の里団地再生を官民連携で取り組む宗像市の事例と合わせて一般質問を行った。 この2つの地域拠点、津屋崎地区と東福間駅周辺地区の活性化について、進捗状況と市の考えを伺う。</p>	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
4	倉元 敏徳	1 福津市農業振興地域整備計画の進捗状況と農業施策について	<p>令和5年6月定例会において、市として統一した福津市農業振興地域整備計画の必要性について一般質問を行い、市長は必要と答弁された。そこで以下について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 福津市農業振興地域整備計画策定作業の進捗について ② 令和3年度に実施された基礎調査及び今後の基礎調査の予定について ③ 今後の福津市農政推進協議会への諮問について ④ 農振農用地面積の詳細について 	
		2 先月発生した市内会社敷地内における火災について	<p>令和5年10月4日に市内会社敷地内の金属スクラップから発生した火災は10時間以上の消火活動となり、しかも深夜の消火活動となった。火災の状況と今後の対応について伺う。</p>	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
5	井手口 忠信	1 乳幼児健康診査について	<p>乳幼児健康診査は母子保健法に基づいて実施されており、特に1歳6か月児健診、3歳児健診は母子保健法第12条により市町村の義務とされている。そこで以下の点について伺う。</p> <p>① 1歳6か月児健診、3歳児健診の受診率はどのくらいか ② 未受診児に対するフォローはどのように行っているのか ③ 3歳児の視力検査は、現在どのように行っているのか</p>	
		2 こどもの眼の健康について	<p>GIGA スクール構想が加速する中、1人1台の端末の環境下で懸念されているのが、こどもの健康面である。特に、裸眼視力が年々低下している。そこで以下の点について伺う。</p> <p>① 福津市の小・中学校における視力検査の現状について ② 視力低下の予防のため、どのような対策を行っているのか</p>	
		3 視覚障がい者の情報取得支援について	<p>全ての障がい者が、障がいの有無によって分け隔てられることのない社会をめざし、「障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する法律」、いわゆる「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」が令和4年5月に施行された。しかし、今でも視覚障がい者にとっては、情報の取得や利用に多くの苦労がある。そこで、現在どのような視覚障がい者の情報取得支援を行っているのかを伺う。</p>	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
6	大山 隆之	1 漁業への補助について	<p>本市は、漁業への燃料補助を9月から実施している。その燃料補助について以下の点を問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 補助の内容と期間 ② なぜ9月から2月なのか ③ 他市の政策などを参考にしたのか ④ 今後の世界情勢や物価高騰を加味し次年度の予算でも補助を検討しているのか 	
		2 水産物の価格下落の影響について	<p>本市では、イカや鯛の他に、アワビや牡蠣なども漁獲されている。その中で、アワビの価格が市場で約3割も下落をしている。この現状を踏まえて以下の点を問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 価格が下落している水産物を把握し、詳細な情報を得ているのか ② アワビ等が中国への輸出停止を受け、価格が下落している現状を、本市としてどうみているのか ③ 国会では漁業関係の補正予算案と対策案を出しているが、市として価格下落への対策案を考えているのか 	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
7	中村 晶代	1 子宮頸がん発症予防に向けた取り組みについて	子宮頸がんの発症予防を目的としたHPVワクチンについて、令和4年に定期接種対象者への積極的勧奨が再開された。それに伴い、約9年間の勧奨差し控えの影響を受けた対象者も3年間の期間限定で定期接種と同じ条件で接種ができるキャッチアップ接種が設けられている。また令和5年4月からは、子宮頸がんの原因の80～90%を防ぐとされる9価HPVワクチンも定期接種として使用可能になり、HPVワクチンへの関心が高まるとともに、多くの自治体で再度の個別郵送通知が実施された。HPVワクチンの現在の位置付けは、A類疾病の定期接種で、予防接種法に基づき市町村が接種対象者や保護者に対して勧奨しなければならない。また、未接種者へも再度の接種勧奨を行うこととされている。その中で、キャッチアップ接種の期限は来年度まで（令和7年3月まで）と迫ってきているが、市のこれまでの取り組みと今後の対策を伺う。	
		2 男性への HPV ワクチン接種について	日本では女性のみHPVワクチンの定期接種をしているが、HPVウイルスに感染すると男性もがんになる可能性があることから、海外では男女ともに公費負担で接種できる国もあると聞く。日本でも最近の動きとして、男性は接種費用が全額負担となり非常にハードルが高いため、費用の一部助成を行う自治体も出てきている。市の考えを伺う。	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
8	佐伯 美保	1 公平な教育環境の整備に向けた福間南小学校への具体策等について	過大規模校が2校、大規模校が2校ある本市において、子どもたちに公平な教育環境を整備することが喫緊の課題である。文部科学省は、31学級以上の過大規模校については速やかにその解消を図るよう設置者に対して促している。福間南小学校45学級1,588人（令和5年10月1日現在）の過大規模解消に向けた具体策及び教育環境の整備等について伺う。	
		2 新設小学校及び周辺地域への防災対策と安全性の検証等について	福間小学校40学級1,405人（令和5年10月1日現在）の過大規模解消策としての宮司地区への小学校新設は、手光今川水系の洪水・高潮・ため池ハザードマップの3つの浸水想定区域内への新設となる。コミュニティ・スクール、地域とともにある学校を目指す本市において、とりわけ浸水想定区域などのイエローゾーンに設置する学校は、子どもたちにとっても地域にとっても災害対応を含め安全なものであることが求められる。新設小学校及び周辺地域への雨水管理対策を含めた防災対策と安全性の検証等について伺う。	
		3 地域防災計画における避難体制の整備状況について	気候変動による自然災害が激甚化している昨今、大雨、洪水、土砂災害、地震、津波、高潮などの自然災害に対する避難体制の整備が求められる。本市の地域防災計画における避難体制の整備状況について伺う。	
		4 福津市マンション管理適正化推進計画について	本市において、マンション管理適正化推進計画は空家等対策計画と抱き合わせで計画されているが、この計画の位置付けと目標等について伺う。	
		5 資源ゴミの回収体制等について	本市の資源ゴミの収集体制における課題と対策等について伺う。	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
9	中村 清隆	1 有害鳥獣対策について	<p>全国的に、野生の熊やサルに人間が襲われたり、農作物などの被害があったりと、毎日のようにマスコミで報道されているが、本市の状況はどうか。</p> <p>有害鳥獣による被害は、農業を営む方々だけではなく、住宅街まで及び、民家の庭に現れて、お子さんを威嚇していたと聞き及んでいる。そこで、以下の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 近年の有害鳥獣の種別個体数の推移は ② 現状の課題をどのように捉えているのか ③ 鹿やイノシシ等個体の比較的大きな動物とハクビシンやアライグマ等の比較的小さな動物とで駆除の方法や数に違いはあるのか ④ 狩猟に関する資格の取得状況は ⑤ 課題解決に向けた取組みは 	
		2 小学校の教育環境について	<ul style="list-style-type: none"> ① グラウンドや体育館の点検及び修理箇所などの対応はどのようにしているのか ② 津屋崎小学校の校舎トイレの臭いがひどく、においに敏感な児童がトイレを我慢していると聞いているが、状況を把握し、対応しているのか ③ 水泳の授業において、スイミングスクールに委託している学校の児童とそうでない学校の児童とで、教育水準の均等は図られているのか ④ 新設校はプールを建設しない方向ということだが、スイミングスクールに委託する考えなのか ⑤ 燃油や人件費、物価の高騰などにより、今後水泳の授業の委託料も当然上がると想像できるが、委託料が高騰しても委託で続けていく考えなのか ⑥ 市内全校が授業で使用し、市民も利用できるような温水の市民プールを建設する考えはないのか 	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
10	岩下 豊	1 夕陽館の今後について	<p>令和5年9月28日開催の全員協議会で出された『福津市福社会館「潮湯の里夕陽館」の利活用について』では、今後のスケジュールは令和6年1月に公募開始となっている。そこで今回の検討結果や公募内容について、以下のとおり伺う。</p> <p>① 検討結果として、「温浴機能の維持を条件として求める。」とあるが、市民であれば誰でも利用できる施設が必須条件となるのか</p> <p>② 民間事業者が管理運営を実施していくため、「高品質なサービスとそれに相応する料金設定が必要」とあるが、市としてどのような施設を想定しているのか</p> <p>③ 「福社会館としての夕陽館が無くなることが福祉行政の低下とならないように」とあるが、夕陽館が無くなることでの福祉行政の低下とは具体的にどういうことか</p> <p>④ 業者が決定しなかった場合の市の対応は</p>	
		2 過大規模校の過密解消策について	<p>令和5年5月25日福津市教育懇話会から出された再答申では、過大規模校・大規模校の児童・生徒数の緩和について、3つの方策が示されているが、市として過密解消策にどう取り組むのか、以下の点について伺う。</p> <p>① 小・中学校が過密状態にある現状に関して、考えられるリスクは</p> <p>② 教育懇話会からの再答申にある3つの方策（①新設校の建設、②校舎の増築、③校区再編）について</p> <p>③ 過大規模校の過密化緩和アンケート調査結果について</p>	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
11	山本 祐平	1 こども食堂について	<p>こども食堂は全国的に拡大しており、平成28年では300件ほどだったが、令和4年には7,300件以上に増加している。運営の形態は多様で、こどもの貧困対策だけでなく地域交流拠点としての役割も大きくなっている。</p> <p>こども食堂が広がりを見せている一方で、運営には多くの課題があり、地域住民や企業、地方自治体の協力が不可欠ともいわれている。これらを踏まえ以下について伺う。</p> <p>① 本市におけるこども食堂の必要性の見解 ② 本市のこども食堂への現在の支援状況と今後検討している支援内容について</p>	
		2 過大規模校への対応について	<p>10月21日に新設小学校住民説明会が開かれたが、説明会の開催時期の遅さや建設予定地決定までの経緯などについて、多くの不満と不安の声があがっていた。また、福間南小学校や福間中学校の過密緩和対策や建設資材等の高騰などによる建設予算への影響など、今後について多くの課題を抱えている。</p> <p>これらを踏まえ以下について伺う。</p> <p>① 新設小学校建設事業の予算は総額いくらまで対応可能と考えているか ② 教育委員会定例会議事録について、新設校に関する協議で非公開になっている部分は今後公開しないのか ③ 今後の住民説明会の予定と内容について</p>	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
12	福井 崇郎	1 次代につなぐ福津産業の創出について	<p>次代の地域の担い手となる若者が活躍する環境づくりのため、福津の人・物・知恵などの既存の資源を生かしつつ、新たな産業を創出することが必要である。第2期福津市まち・ひと・しごと創生総合戦略においても商工業や観光の振興、次代の地域経済の担い手育成などを目標に掲げ、まちづくり基本構想と将来像を共有しながら、取り組んでいる。市政運営の指針に掲げる経済・産業が元気なまちの実現に向けて、どのような取り組みを今後行うのか、以下の点について見解を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 雇用創出をはじめとした創業支援や事業継承などを含む商工業振興に向けた支援策 ② 中小企業振興条例の策定状況と今後の中小企業振興の計画と取り組み ③ 企業や事業所の誘致、大学などを含む産官学の連携の現状と今後の取り組み ④ 観光客の受け入れ状況、滞在時間・消費額の現状と課題 ⑤ 夕陽館や大峰山キャンプ場、旧魚正跡地など地域の活性化に位置付けられている公共施設の現状と今後の取り組み ⑥ 観光資源（海岸線、津屋崎千軒、新原・奴山古墳群）の魅力向上のための宿泊施設の誘致や面的な取り組みと課題 ⑦ 観光ブランディング戦略の取り組みと課題、福津ブランドの確立のためのお土産の開発やふるさと納税の寄付金の拡大のための取り組み ⑧ 地域経済の担い手育成に向けたキャリア形成やリーダー育成などの支援策 ⑨ 地域総体産業に向けた今後の方針と具体的な取り組み 	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
13	豆田 優子	1 教育の機会を均等に享受するための取り組みについて	<p>学校教育法第19条において「経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない」とされている。この事を具現化するための制度として就学援助制度がある。そこで以下について伺う。</p> <p>① 就学援助制度の周知について ② 就学援助費の支給基準について ③ 就学援助費の支給時期について</p>	
		2 子どもたちの未来のための取り組みの現状について	<p>令和5年9月定例会で、新設校建設予定地の周辺地域を含む住民説明会の開催や市民への周知について伺った。その後の経過と対策について伺う。</p>	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
14	戸田 進一	1 ゴミ行政と自治会活動について	<p>一般廃棄物については、法律で市町村が収集、運搬、処分することが義務付けられおり、その枠組みの中で、市は不燃物の分別収集を自治会に「お願い」し、自治会活動と位置付け「地域分別収集所」の運営を任せている。その中で、自治会は、加入・脱退が任意でできる組織であるにもかかわらず、自治会未加入者が地域分別収集所にゴミが出せない、または出すためには一定の負担を求められる等の事例が散見される。このこと及び今後のゴミ行政の在り方について、以下のとおり伺う。</p> <p>① 最近の事象及び本市における実態について ② ゴミ行政の法的位置づけ及び市の責務について ③ 市民の責務の範囲について ④ 今後の在り方について</p>	
		2 新設小学校の建設について	<p>宮司地区に建設予定の新設小学校は、建設用地購入も済み、造成工事費も可決した。そして、10月21日に宮司2区・3区の地域住民を対象に説明会が開催された。その中で、安全性に対する不安・疑問などさまざまな意見が出された。その際に出された意見や安全性等に関わる事項について、それに先立って行われた福岡県との協議内容も踏まえて、市の見解を伺う。</p>	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
15	尾島 武弘	1 農業施策等について	<p>市の基幹産業の農水産業は「まちづくり基本構想」の中で、経営基盤の強化と減少傾向にある就業者数の維持、増加に向けた取り組みが必要となっている。基本方針として「農水産業分野の収益性を向上させ、担い手を育てる」、「多様な産業が連携し、地産地消を促進する」とし、また2030年の将来像を「農産物の地産地消や6次産業化も進み、安全で豊かな食生活をささえています」としている。この将来像に向け、市では現在さまざまな施策を実施している。今回、農業施策等についての進捗状況と課題、今後の方針について以下のとおり伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 用排水路等農業施設の保守管理およびため池の維持管理について ② 鳥獣被害について ③ 遊休農地・耕作放棄地について ④ 農地の集積・集約について ⑤ 収益性向上について ⑥ 担い手育成について ⑦ 地産地消について ⑧ 農作物の6次産業化について 	
		2 市が管理している防風林等の管理体制について	<p>市が管理している防風林等の草木の繁茂に対し、隣接する住民から改善してほしいとの声が出ている。市が管理する防風林等は市内に何カ所あるのか、また管理体制と改善策はどうなっているのか伺う。</p>	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
16	中村 恵輔	1 過密化が続く福間南小の現状と、今後の取り組みについて	本市において学校過密化の解消は最重要課題である。その中でも福間南小学校は一番早く過大規模校化した。が、未だに解消に至っていない状況である。今年度上期には教育懇話会の再答申を受けているが、令和6年度も間近に迫る中で、改めて過密解消に向けた取り組みについて伺う。	